

令和3年度第1回古賀市公民館運営審議会会議録

【名称】 令和3年度第1回古賀市公民館運営審議会

【日時】 令和3年7月6日(火) 19時～20時30分

【場所】 リーパスプラザこが「交流館」103

【出席者】

公民館運営審議会委員

末次威生会長、吉田義徳副会長、
青谷奈保子委員、富山巽委員、安武初男委員、江口幸児委員、
梯裕子委員、山本節子委員、樋口律子委員

事務局

教育部長 横田浩一、生涯学習推進課長 樋口武史、
公民館長 青谷昇、公民館係長 的野いと

【傍聴者数】 0名

【内容】

1. 教育委員会あいさつ

教育部長 横田があいさつ

2. 公民館運営審議会について

[事務局説明]別紙1のとおり
会議の公開について、異議なし。

3. 委嘱書交付

4. 自己紹介

5. 会長、副会長選出

全員一致で会長に末次威生委員が、副会長に吉田義徳委員が選任される。
以降の議事進行は末次会長が行う。

6. 付議事項

(1) 生涯学習推進課 事務分掌について

[事務局説明]別紙2のとおり

(2) 令和2年度施設使用状況報告について

[事務局説明]別紙3のとおり

[委員からの意見等]

(委員)次回、過年度の使用状況等について資料が欲しい。

(事務局)承知した。

(委員)事務局としては利用率を向上させたいのか。

(事務局)特定団体のみではなく、現在使用していない団体等にも広く利用してもらえるようにしたいと考えている。

(委員)303・304和室については仕切りをはずして1つの部屋として広く使うことができるが、片方の部屋のみ予約が入っていることが多く、広く使うことができなかった。この資料を見て令和2年度は利用が増えていることが分かった。利用についてはまた相談させていただきたい。

(事務局)貸館利用については社会教育振興係が担っており、連携しながらより良い貸館について検討して参りたい。

(3) 公民館係各種事業について

・分館活動支援事業

・リーパスカレッジ事業

・日本語教室事業

・成人祝賀(成人式)事業

[事務局説明]別紙4～別紙7のとおり

[委員からの意見等]

(委員)各分館で行っている活動について、市は把握されないのか。

(事務局)分館活動、分館教養学級については交付金の交付に伴い活動予定及び実績を提出させており、活動内容について把握している。良い取り組みをしている活動については、他の分館にも紹介したいと考えており、積極的な把握に努めている。

(委員)以前分館主事をした際、他の区が何をしているのかということが知りたかった。市から紹介してもらえればと思う。

(事務局)先日、分館長・分館主事の代表者会議を行い、情報交換を有効に行いたいという提案をしている。再度代表者会を開き、全体会において研修会や情報交換を行うことについて検討していただく予定である。今いただいたご意見も参考にさせていただく。

(委員)分館長・分館主事への情報提供とは具体的にどのような内容か。

(事務局)活動に対する具体的な情報提供はできておらず、個別に相談があった時に応じている。今後の課題と捉えている。

(委員)分館主事は輪番で1年ごとに替わると思う。全体会で仕事内容を分かりやすく伝えていただけたら、分館に戻ったときにどのような活動をすれば良いか分かるのではと思う。分館教養学級は減少してきていると思う。昨年度はコロナの影響でどこも活動がほとんどできなかったと思う。コロナ終息後、またはコロナがそのまま続くのであればどういう活動をしたら良いのか市から提案していただければと思う。

(事務局)先日の分館長・分館主事代表者会においても、昨年度はほとんどの分館が十分に活動できていないという状況の中、工夫して少しでも活動を、と取り組んだところがある。良い取り組みがあれば発信していく必要がある。コロナという先の見えない状況ではあるが、一緒に考えていきたいと考えている。委員の皆さまからも日頃活動されている中で良いご提案があれば教えていただきたい。

(委員)リーパスカレッジについて、コロナで中止になった分はそのままなのか。

(事務局)③と⑩の講座については日程を変更して実施、その他の講座については後期に開催できるものは後期で開催するが、内容や講師都合によりできないものもある。

(委員)リーパスカレッジの最終目標は出会った人たちやより深めたい人たちが自主的に活動することとあり良いと思う。ここに至るまでのイメージ等あれば教えて欲しい。若い世代の人たちが自主的に活動するということがなかなか難しい状況にあると思っている。

(事務局)リーパスカレッジについては形態を変えたばかりであり、試行的に講座を実施している段階

である。座学については交流を深めることが難しいと考え、後期についてはなるべく交流できる時間を設けるよう検討している。また、講座冒頭には必ず地域で広めて欲しい旨をお知らせしている。リーパスカレッジは1つのきっかけであり、私たちの思いは地域で広げていただきたい。地域では少子高齢化による様々な課題が出てきており、そういった課題解決も含めて考えていけるようにと考えている。

(委員)リーパスカレッジの出張出前講座について。地域を回っているが、何をしたら良いか分からないという声をよく聞く。古賀市の出前講座とは別にリーパスカレッジの出張出前講座というのがあるのか。パンフレットは誰でも手に入れられるのか。

(事務局)まちづくり出前講座とリーパスカレッジの出張出前講座の違いについては、まちづくり出前講座は市が市民に知っていただきたいこと等を伝えており、無料で受講が可能。講座によっても異なるが、概ね10名以上のグループが対象となる。リーパスカレッジについては個人で受講が可能。リーパスカレッジ出張出前講座については、現時点では分館長・分館主事のみ渡しており、どのように広がっていくのか様子を見たいと考えているところである。

(委員)リーパスカレッジ出張出前講座の内容を知りたい。

(事務局)後ほど皆様にお渡しする。

(委員)公民館活動は卒業したが、毎回何かあるたびに先輩として相談を受ける。分館もよそに目を向けないと、よそが何をやっているのか分からない。情報を自分たちでもつかんでいかないと先に進んで行かないのではないか。また、地域の分別収集の際、外国の方が来られるので分け方を教えている。自分たちが行動を起こしていかないと変わらない。今後、日本語教室事業があることを伝えていきたい。今日の資料を有効に使いたい。

7. その他

①各委員から

(委員)今後も会議はこの机の配置で続くのか。事務局の顔が見えにくい。

(事務局)次回からは委員の皆様と同列の配置をとるようにしたい。

②事務局から

(事務局)当該審議会では館長が諮問し、答申していただくこともある。今後協議が必要な事項が生じた場合をお願いしたい。それまでは市が行っている事業に関しご意見をいただきたいと考え、年に2回は開催したいと考えている。日程等については今後また調整させていただきたい。

8. 閉会あいさつ

吉田副会長があいさつ